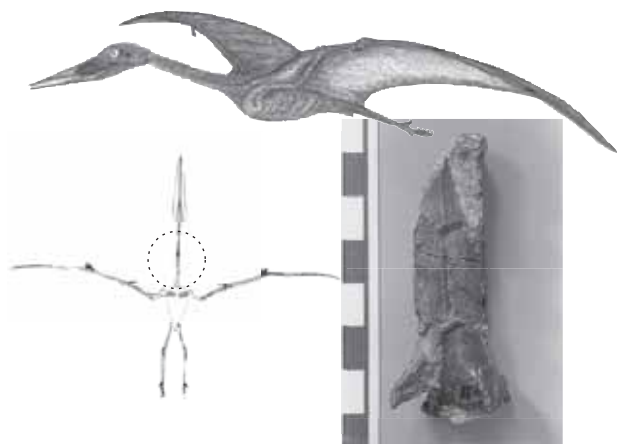


翼竜は史上最大の空を飛ぶ動物です。翼開長（翼を広げた幅）が10メートルを超えるケツアルコアトルスは有名で、まさに恐竜時代の「空の王者」です。空を飛ぶ生物なので、よく「鳥の祖先ですか？」と聞かれますが、鳥とは違う生物で、また、恐竜でもありません。翼竜は、約2億3千万年前に恐竜の祖先に近い動物から進化してきたと考えられています。最初は長い尻尾を持つ小型の種類が出現しましたが、やがて尾が短い大型の種類が繁栄するようになりました。そして今から約6千500万年前に絶滅してしまいました。翼竜の骨は中空で、段ボールの

恐竜時代への旅

第7話

御船の空を飛んでいた翼竜



DATA

御船町で発見されたアズダルコ科の翼竜の頸椎骨（右下）と部位の説明図（左下）、想像図（絵／同館・宮本厚子）

ような補強構造を内部に持っています。最近では、「空を飛べなかったのでは？」という説もあります。このような骨の構造は、体を軽くするために有利な特徴だと考えられます。しかし、未だに謎の多い生物で、飛行能力や生態は詳しくわかっていません。御船町では、ケツアルコアトルスのなかま（アズダルコ科）の翼竜の首の骨の化石が見つかっています。その形から首が長い翼竜だったことがわかります。御船町にいた翼竜は翼開長2メートル程度だったと推定されます。（文・写真／恐竜博物館 池上直樹）

子育て日記



長女・美羽ちゃん（6歳・右）
次女・結愛ちゃん（4歳・左）

それぞれの個性で輝いてほしい

しっかり者で頼れる長女・美羽と、お調子者でにぎやかな次女・結愛の姉妹です。生まれた時から性格がまるっきり正反対の2人。赤ちゃんの時は、ベビーカーに乗りたがらず、哺乳瓶に好き嫌いのあった姉に対して、妹はベビーカー大好き、哺乳瓶も飲めるならなんでも大丈夫!! 食べるのも姉は麺派で妹はパン派。

今現在も、性格は基本的に変わらず「こだわりをもっている姉」と「何でもOK、柔軟性のある妹」と対照的な2人ですが、その違いがなんとも言えず、とっても楽しい毎日を送っています。

私たち夫婦は、2人の個性を大切にしながら、できるだけ手を出さず見守っていったらという想いで子育てを楽しんでいます。

（文／本山めぐみお母さん・辺田見）

学校自慢

御船中学校

地域に開かれ、信頼される学校づくり

本校では、平成20年度より文部科学省の委託を受け、「御船町学校支援地域本部事業」が始まっています。この事業は、地域住民の方が学校支援ボランティアとして活動するための体制整備をすることが目的です。そして、子どもの教育をよりよいものとし、事業を通して、地域住民の絆づくりを行い、地域の教育力の向上が期待されています。

本年度は、「地域に開かれ、信頼される学校づくり」をテーマに、できる限り地域の方に、体育大会、文化発表会などの学校行事に参加いただく中で、学校、家



合同清掃作業で汗を流す生徒とPTA



学力充実研究授業で地域の方へ授業を公開

庭、地域が一体となった教育活動を展開していきたいと考えています。そこで、本校の教育活動に、ご協力いただける方の人材バンクを、実践を通して作成しています。また、現在行っている主な事業は、部活動の見守り支援、学習支援、登下校支援、環境整備支援、読み聞かせ支援などです。特に1年生の総合的な学習の時間「御船探訪生き生き生きる」に31名の地域の方にゲストティーチャーとして参加していただきました。今後とも保護者、地域のみなさまのご支援をよろしくお願い申し上げます。（文・写真／御船中学校）

Library Information

町立図書館 カルチャーセンター1F
☎ 282-0888 休館日／毎週月曜日

ふちなしのかがみ

辻村 深月 著

ひややかな恐怖が胸に迫る。青春ミステリーの気鋭が初めて封印を破った現在の怪談！やくそくをやぶった人はだあれ？その向こう側は、決して覗いてはいけない…。



コレラの時代の愛

G・ガルシア＝マルケス 著
木村榮一 訳

あなたは誰かを心の底から愛したことがありますか？50年以上も別の男性と結婚した女性を待ち続けた男性の愛の物語です。



新刊書情報

11月は49冊の本が入りました

- 児童書（15冊）
よみもの／ありとぞうさんのおさんぽ（ふくだとしお 著）
よみもの／まんが日本昔ばなし①～⑥（川内彩友美 著）
よみもの／なんでもいっぱい！こども大図鑑（米村でんじろう 著）

- 一般書（34冊）
小 説／函館水上警察（高城 高 著）
小 説／雪冤（大門 剛明 著）
教 養／社会を変えるを仕事にする（駒崎 弘樹 著）

人にはどれだけの土地がいるか

トルストイ 著
柳川 茂 絵 小林 豊 画

人間が生きるに必要なものは、決して大きい財産や土地ではないことが美しい絵と文章で画かれている、ロシアのトルストイという有名な作家のお話です。

（小坂小おはなしの会・トトロ）

